

地方独立行政法人福岡市立病院機構
平成24年度の業務実績に関する評価結果報告書

平成25年8月

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会

目 次

はじめに	1
第1項 全体評価	2
第2項 項目別評価	4
（1）大項目評価	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	4
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	6
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	7
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	8
（2）小項目評価	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 医療サービス	20
2 医療の質の向上	34
3 患者サービス	46
4 法令遵守と情報公開	54
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	
1 運営組織	56
2 収支改善	58
3 人事・給与	68
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 経営基盤の確立	70
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	
1 新病院に向けた取組み	74
2 福岡市民病院の経営改善の推進	76
〈参考資料〉	
○地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針	80
○地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領	82

はじめに

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会は、地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構の平成24年度における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

評価に際しては、本評価委員会において、平成22年11月10日に決定した「地方独立行政法人福岡市立病院機構業務実績評価の方針」及び「地方独立行政法人福岡市立病院機構年度業務実績評価実施要領」に基づき評価を行った。

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 委員名簿

	氏 名	職 名
委員 長	長 柄 均	福岡市医師会 副会長
副委員 長	松 田 晋 哉	産業医科大学医学部公衆衛生学教室 教授
委 員	佐 田 正 之	医療法人佐田厚生会佐田病院 院長
	野 口 久美子	福岡県看護協会 副会長
	吉 水 宏	公認会計士

第1項 全体評価

評価結果及び判断理由

〈評価結果〉

平成24年度の業務実績に関する評価については、すべての小項目評価が「評価3」以上であることから、第1から第4の大項目評価はすべて「評価A」と判断した。

この大項目評価の結果を踏まえ、平成24年度においては、福岡市の医療施策として求められる高度専門医療・高度救急医療を提供するため、両病院において着実に医療機能の充実が図られるとともに、新規施設基準の取得などの積極的な増収対策や、徹底した費用削減の取組みなどにより、結果として、法人全体として平成23年度を上回る経常黒字を達成したことから、平成24年度の業務実績は「全体として中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」と評価する。

〈判断理由〉

こども病院・感染症センターにおけるICU増設などによる高度かつ難易度の高い手術症例の受入体制強化や、福岡市民病院における難易度の高い手術の施設基準の取得や救急科の新設など、着実に医療の質の向上を図るとともに、患者のニーズを踏まえたサービスの向上や、地域の医療機関との連携強化に積極的に取り組んでいる。

また、人材確保が困難な中において、大学病院への積極的なアプローチによって医師の確保を着実にを行うとともに、認定看護師の育成や、医療技術職の専門性向上を図るなど、組織の強化・充実を図っている。

さらに、理事長を中心に、両病院と事務局が一体となった経営体制を構築し、経営管理の徹底を図っている。

こうした取組みの結果、診療単価の上昇などによる増収に加え、診療材料等の調達にかかる価格交渉の徹底などによる費用削減の取組み効果と合わせて収支もさらに向上し、平成23年度を上回る経常黒字を達成している。

項 目	評価項目数	ウェイトを考慮した項目数	小項目評価					大項目評価
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	14	28		12	16			A 計画どおり進んでいる
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	5	13		6	7			A 計画どおり進んでいる
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	1	2		2				A 計画どおり進んでいる
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	2	4		2	2			A 計画どおり進んでいる
合 計	22	47		22	25			

全体評価にあたって考慮した内容

〈主な取組みや特色ある取組み〉

こども病院・感染症センターにおいては、休日・夜間における救急診療体制の強化や、ICUの増設による手術患者の受入体制強化に努めるなど、診療機能の充実を図っている。また、産科において、こども病院であれば救命の可能性が高い重症例を受け入れるなど、地域の基幹病院との連携を図りながら、地域周産期母子医療センターとしての役割を果たしている。

福岡市民病院においては、難易度の高い腹腔鏡下手術等の施設基準を取得するなど、高度専門医療の充実を図るとともに、新たに救急指導医や救急専門医を配置し救急科を新設するなど、高度救急医療の充実を図っている。

両病院ともに地域医療支援病院としての役割を果たすため、開放型病床への登録医の拡大やオープンカンファレンスの開催などを通じて地域の医療機関との連携強化に努めるとともに、患者の利便性向上を目的に、クレジットカードによる医療費の支払を4月から開始するなど、患者のニーズを踏まえたサービス向上に取り組んでいる。

新病院については、平成26年11月の開院に向け本体工事に着工するなど、着実に事業の進捗を図っている。

〈特筆すべき取組み〉

増収対策として、こども病院・感染症センターにおいては、ICUを増設するなど手術患者の受入体制強化による高度かつ難易度の高い手術件数の増加や、地域周産期母子医療センターの認定に伴うDPC係数の増などによって増収を図っている。

また、福岡市民病院においては、高度救急医療等の展開や難易度の高い手術症例の増加などによる新規入院患者数、救急搬送件数及び手術件数等の増加によって増収を図っている。

さらに、費用削減については、両病院ともに外部コンサルタントを活用した診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底や、委託契約の見直しによる複数年契約の導入、ジェネリック医薬品の使用拡大等による費用削減に取り組んでいる。

この結果、法人全体として、平成23年度を上回る経常黒字を達成している。

特に、福岡市民病院については、中期計画に基づく経営の効率化や健全化に取り組み、平成23年度に引き続き医業収支比率の黒字を達成するなど、経営改善が順調に進んでいる。

評価にあたっての意見、指摘等

「第1-3-(1)患者サービスの向上 イ、福岡市民病院」

患者満足度調査における「非常に満足を感じている患者の割合」が目標値及び前年度実績値を大きく下回っていることについては、その原因の分析及び改善に努められたい。

「第2-2-(1)増収 ア、こども病院・感染症センター」

病床利用率や新規入院患者数など、前年度実績を下回っている項目については、その原因を詳細に分析し、対策を講じるべきである。

「第2-2-(1)増収 イ、福岡市民病院」

院長をはじめ、各医師等の一丸となった取組みにより、医業収益が大きく伸びていることについて、高く評価する。

「第2-2-(2)費用削減」

今後は人件費などの費用削減について、より一層の努力を期待する。

「第4-1新病院に向けた取組み」

市民の期待に沿うことができるよう、一日でも早い開院に向け努力していただきたい。

第2項 項目別評価

(1)大項目評価

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

「良質な医療の実践」「診療体制の強化・充実」「病院スタッフの確保と教育・研修」の項目において、目標を上回る成果を上げているほか、ほとんどの項目で年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗 状況にある	A 計画どおり進ん でいる	B おおむね計画ど おり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべ き事項がある
------	-----------------------	---------------------	-------------------------	--------------	------------------------

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価 項目数	ウエイト を考慮 した 項目数	小項目評価				
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 医療サービス	5	13		6	7		
2 医療の質の向上	4	8		6	2		
3 患者サービス	4	6			6		
4 法令遵守と情報公開	1	1			1		
合 計	14	28		12	16		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

「1-(1)良質な医療の実践 イ、福岡市民病院」

難易度の高い腹腔鏡下肝切除術等の施設基準取得や、脳卒中地域連携パスの発行件数が市内医療機関で最多となるなど、高度専門医療の充実が図られるとともに、新たに救急専門医を配置するなど、高度救急医療の充実が図られていることから、「評価4」とした。

「1-(2)地域医療への貢献と医療連携の推進 イ、福岡市民病院」

地域医療機関との連携強化や、地域住民に対する出前講座などにも積極的に取り組んだ結果、全ての項目で目標値を上回るなど、着実に成果を上げていることから、「評価4」とした。

「2-(1)診療体制の強化・充実 イ、福岡市民病院」

入院部門のセンター化による専門性の高いチーム医療を実践するとともに、救急科の開

設や、腎臓内科医師などの専門医を新たに配置するなど、人材確保が困難な中において、年度計画を上回って診療体制の強化・充実が図られていることから、「評価4」とした。

「2-(2)病院スタッフの確保と教育・研修」

人材確保が困難な中において、医師等の確保が着実に進められるとともに、認定看護師の育成や、医療技術職の専門性向上を図るなど、教育・研修体制の充実が図られていることから、「評価4」とした。

「2-(3)信頼される医療」

服薬指導や栄養食事指導の充実に努めるとともに、クリニカルパスについても新たなパスの作成に取り組んだ結果、全ての項目において目標値を上回るなど、着実に成果を上げていることから、「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見、指摘等

「3-(1)患者サービスの向上 イ、福岡市民病院」

患者満足度調査における「非常に満足を感じている患者の割合」が目標値及び前年度実績値を大きく下回っていることについては、その原因の分析及び改善に努められたい。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

新規施設基準の取得などによる増収を図るとともに、徹底した費用削減を図ったことにより、両病院ともに経営に関する目標を上回る成果を上げているほか、ほとんどの項目で年度計画を順調に実施している。

	S	A	B	C	D
評価結果	特筆すべき進捗状況にある	計画どおり進んでいる	おおむね計画どおり進んでいる	やや遅れている	重大な改善すべき事項がある

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項目	評価項目数	ウェイトを考慮した項目数	小項目評価				
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 運営組織	1	2			2		
2 収支改善	3	9		6	3		
3 人事・給与	1	2			2		
合計	5	13		6	7		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

「2-(1)増収 イ, 福岡市民病院」

新規入院患者数, 手術件数, 救急搬送件数の増加及び入院診療単価の上昇などにより, 医業収益において, 前年度及び目標値を上回る増収を達成したことから, 「評価4」とした。

「2-(2)費用削減」

職員の増員などによる費用増加の要素はあるものの, 多様な契約手法の導入などによる徹底した費用削減が図られたことにより, 予算に対して約6億3千万円の費用削減を達成していることから, 「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見, 指摘等

「2-(1)増収 ア, こども病院・感染症センター」

病床利用率や新規入院患者数など, 前年度実績を下回っている項目については, その原因を詳細に分析し, 対策を講じるべきである。

「2-(1)増収 イ, 福岡市民病院」

院長をはじめ, 各医師等の一丸となった取組みにより, 医業収益が大きく伸びていることについて, 高く評価する。

「2-(2)費用削減」

今後は人件費などの費用削減について, より一層の努力を期待する。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

経営管理の徹底による効率的・効果的な経営を行うことにより, 両病院及び法人全体としても運営費負担金繰入後の経常黒字が達成されており, 年度計画を順調に実施している。

	S	A	B	C	D
評価結果	特筆すべき進捗状況にある	計画どおり進んでいる	おおむね計画どおり進んでいる	やや遅れている	重大な改善すべき事項がある

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価項目数	ウェイトを考慮した項目数	小項目評価				
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 経営基盤の確立	1	2		2			
合 計	1	2		2			

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

「経営基盤の確立」

法人本部における「経営会議」において, 随時, 経営状況を検証するとともに, 各病院においても, 部門毎に診療内容や経営に関する具体的な目標設定と達成状況を確認するなど, 経営管理を徹底することにより, 経営に係る全ての項目で目標値を大きく上回る成果をあげていることから, 「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見, 指摘等

特になし。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

新病院に向けた取組みについては、平成26年11月の開院に向け着実に事業を推進するとともに、福岡市民病院の経営改善については、2期連続となる医業収支比率の黒字を達成するなど、年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗状況にある	A 計画どおり進んでいる	B おおむね計画どおり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべき事項がある
------	-------------------	-----------------	---------------------	--------------	--------------------

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価項目数	ウエイトを考慮した項目数	小項目評価				
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 新病院に向けた取組み	1	2			2		
2 福岡市民病院の経営改善の推進	1	2		2			
合 計	2	4		2	2		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価
 「2 福岡市民病院の経営改善の推進」
 高度救急医療・高度専門医療の充実による増収に加え、徹底した費用削減に努めた結果、2期連続となる医業収支比率の黒字を達成するなど、経営改善の取組みが着実に進んでいることから、「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項
 特になし。

評価にあたっての意見、指摘等

「1 新病院に向けた取組み」
 市民の期待に沿うことができるよう、一日でも早い開院に向け努力していただきたい。

(2)小項目評価 別紙のとおり